

**実勢価格を適切に予定価格に反映させるため
「見積の提出を求める方式」を試行します。**

記者発表資料

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないなどの理由により、入札の取りやめや不調となる工事が多発しています。この理由の一つとして、標準的な積算と当該現場の見積り（実勢価格）に乖離が生じている場合が考えられることから、『見積の提出を求める方式』を試行しています。

今回、千葉国道事務所で初の「見積の提出を求める方式」による発注手続きを行います。対象工事は「幕張4丁目交差点交通対策工事」です。交通量が多い市街地で、道路交通を確保しながら交差点改良や路面表示を行う交通対策工事であり、施工にあたっては作業効率が低下することが考えられることから、入札参加者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映するものです。

見積を求める工種は、過去に不調となった工事の実績により標準的な積算との乖離が予想される工種から選定しています。

平成19年12月26日

国土交通省 関東地方整備局 企画部 技術管理課
企画部 技術調査課
千葉国道事務所 交通対策課

発表記者クラブ	
埼玉県政記者クラブ 竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会	
千葉県政記者クラブ 千葉市政記者会	

問い合わせ先	
国土交通省 関東地方整備局	については、代表問い合わせ先
企画部 技術管理課 課長補佐	石鉢 盛一郎 電話 048 - 600 - 1331(直通)
技術調査課 建設専門官	浅古 勝久 電話 048 - 600 - 1332(直通)
千葉国道事務所 副所長	齋藤 厚 電話 043 - 287 - 0311(代表)
交通対策課 課長	岩崎 辰志 電話 043 - 285 - 0339(直通)

1. 取り組みの概要

昨今、道路交通を確保しながら交差点改良や路面表示等の交通事故対策を行う交通対策工事において、入札価格が予定価格を上回る入札不調工事が発生しています。

この一つの理由に標準積算と実勢価格に乖離が生じていることが伺えます。

このため、下記の工事において、実勢価格を適切に予定価格に反映させるため、過去の実績により、特に乖離が大きい工種について、「見積りの提出を求める方式」を試行することとしました。

2. 工事概要

(1) 工事名：幕張4町交差点交通対策工事

(2) 見積りの提出を求める工種

舗装工、道路植栽工、照明灯移設工

(3) 見積りの提出を求める理由

今年度、千葉国道管内の交通対策工事が1件不調となりました。

工事内容としては、交通量が多い市街地で、道路交通を確保しながら交差点改良や路面表示を行う交通対策工事です。施工にあたっては作業効率が低下することが考えられることから、入札参加者から見積りの提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映し交通事故削減のため速やかに工事を行う必要があります。

(4) 工事概要

工事場所：自) 千葉県千葉市花見川区幕張町2丁目
至) 千葉県千葉市花見川区幕張町5丁目

工期：平成20年2月～平成20年9月

発注機関：関東地方整備局 千葉国道事務所

入札方式：総合評価(簡易型)

工事種別：アスファルト舗装工事

工事規模：A等級

工事概要：本工事は、千葉県千葉市花見川区幕張町2丁目～千葉県千葉市花見川区幕張町5丁目までの延長約630mにおいて、交通対策工事を施工するものである。

地形等：当該地区は、JR幕張駅及び京成幕張駅の南西付近に位置する商業地域で地形は平坦である。沿道状況は、大規模店舗及びオフィスビル等が連担しており、近隣には学校施設がある。当区間の車線構成は、上り3車線下り2車線で供用中であり、交通量は約4万2千台/日である。

工事内容：工事延長 L=630m、舗装工 1式(車道舗装工 A=約13,200 m²、歩道舗装工 A=約5,000 m²)、街渠工 L=約1,200m、区画線工 L=約6,300m、防護柵工 1式、標識工 1式、道路植栽工 1式、構造物撤去工 1式

(5) 総合評価

標準点：100点 最低限の要求条件

加算点：40点 下記の評価点 ~ の合計の最も高い者を40点とし、他の者は評価点により按分する。

企業の技術力 : 67点 (最大)

. 簡易な施工計画

・当該工事における路上工事期間短縮の具体的な対策について(縮減日数の提示は不要)

・第三者(歩行者・通行車両)に対する安全対策(情報提供を含む)

. 企業の施工能力、配置予定技術者の能力、地理的条件及び技術特性「施工体制の評価」

施工体制評価点：30点

(6) スケジュール

入札公告：平成19年12月27日

入札日：平成20年 2月15日